

さかそう通信

Sakaso

「ともにさかそう 笑顔とお互いさまのまち 阪南」～ 自分を取り巻く人や自然などの環境と繋がり、互いに慈しみ、思いやり、感謝し、自らができる役割を担いながら【お互いさま】、市民や各種団体、事業者、市役所が協働して【ともに】、市内に花を咲き誇らせ、緑を大切に自然を守る【花を咲かせる】、産業や地域資源を活かしてまちを発展させる【まちを栄かせる】、人(人財)を大切にする【人を咲かせる】ことにより、市民みんなから笑顔がこぼれる【笑顔を咲かせる】まちにしていこう～「さかそう通信」お届けします。

こんにちは。市議会議員の上甲です。今回のさかそう通信27号は、平成29年度第1回定例会(いわゆる3月議会)の内容と、和歌山市に計画されている産業廃棄物最終処分場計画の現状をお知らせいたします。と、その前にお知らせをしたいと思います。この4月より新しい取り組みを始めたいと思います。

上甲誠市政報告座談会

「さかそう会」→ 定例化!


よりたくさんの皆さんに「阪南市のまちづくり」に興味を持っていただくため、気楽にお越しいただける座談会を【毎月】開催いたします。

平成29年 4月 22日(土)

10時～11時

あたごプラザ(舞 3-31-6)もも

※5月以降は第3土曜日10時からに固定する予定です



3月議会より

(1) 総合子ども館予算が減額補正

平成28年度予算の中で総合子ども館計画が白紙撤回されたことにより、2億2千万円弱が減額、議決しました。

(2) 教育長・副市長の人事決まる

教育長には3月で定年の元尾崎小学校

校長先生が決まりました。同時に教育委員4名も決まりました。また大阪府から来ていただいた副市長も決まりました。

(3) 国民健康保険の限度額値上げ

一昨年に続いて、国保の限度額が引き上げられます。85万円が89万円になります。対象世帯には大きな負担になります。対象世帯の今後や全体のバランスのための値上げです。

3月議会 一般質問

今回の私の質問は平成29年度の阪南市行政経営計画(水野メソッド2017)についてです。

《質問》水野メソッドとは何か。

《市長》これまでの取り組みは市役所が主導して行ってきたものが多く、加えて十分に連動しているとは言えず、地域の考えや想いを十分に反映できていなかったのではないかと考える。これまでの市役所主体の施策展開から、地域の皆さんと市役所が協働し一人ひとりが互いを支えながら「待ち受け」の姿勢を「共創的」なものに変えること、様々な取組を重層的に連携して行っていくことが非常に重要である。そこで、地域の皆さんは「観客」から「プレイヤー」へ、職員は「プレイヤー」から「マネージャー」にそれぞれ役割を転換し、地域の皆さんと市

役所が共創して、横断的・重点的に解決を図るまちづくりの取組を具体的に示したものが「水野メソッド」である。取り組みについては「地域の街づくりの推進」「健康長寿社会の実現」「地域資源を活かした産業振興の推進」の3つのステージを「生きがいづくり」「つながりづくり」「学びあう人づくり」によるまちづくり【学びあう人づくり】「市政の見える化」の5本の矢で貫き、それぞれの連動性を高めていく。

《質問》子育て拠点整備(総合子ども館)について、今までの経緯で何が問題だったのか。

《市長》民意は何だったのか部長たちに問い続けている。私たちが日々仕事を行っているのは「総合計画」「自治基本条例」を実現するためである。そして、それらを連動させるため、部長たち・企画部局と喧々諤々メソッドを創り出した。阪南市が今まで目指してきたまちづくりと、水野のマニフェスト、基本的には変わっていない。

《まとめ》上甲の考える大切なものは、みんなが前向きに積極的(積極的)に物事を「おもいやり」をもって取り組み、出来る(出来る)理由をさがすのではなく、出来る(出来る)可能性をさがす意識だと思えます。そして一番大切なのは情報発信と情報共有。

上甲誠ブログ 人こそ街なり



ほぼ毎日更新中!

<http://mac-joe.net/>

阪南市のお得情報、イベント、
こんなこと知りたかった、満載!!



ご希望の方には
さかそう通信

郵便配達

いたします!
右記までお問い合わせ
お願いします。

市政相談・お問い合わせ
お気軽に



上甲誠市政相談所

大阪府阪南市舞 4-30-2

電話 072-474-9211

メール mac@j.zaq.jp

阪南市の水源地で産廃計画

さかそう通信では何度も

取り上げさせていただいている、

阪南市の大切な男里川、

山中川の水源地である

和歌山市滝畑地区に

計画されている

産業廃棄物最終

処分場ですが、

ここ最近の動き

をお知らせした

と思います。

事業者からの回答書

平成28年5月〜9月に和歌山市・阪南

市で計5回行われた住民説明会での意見

に対する回答書が平成29年1月提出され

ました。主なやり取りはこんな感じです。

▼16万件の反対署名、和歌山市議会の反

対決議、知事・市長「住民反対ある以上

は建設しない」発言をどう受け取るか?

(答) 反対の署名については当事業に対

する理解を得られていないことの結果で

引き続き説明会等を通じて説明を行う。

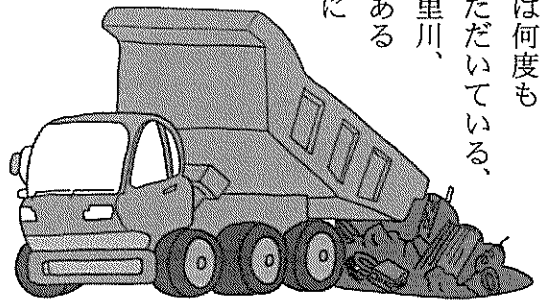
議会の対応は甚だ遺憾である。知事、市

長においても事業計画が提出される前に

精査をせずになされた発言であり、計画

が否決されたものではない。

▼水なども汚され、農作物にも被害が出



(答) 水質の保全に関しては次のよう

な安全管理システムを構築している。

①安定5品目のみを受け入れる。②展

開検査により、疑わしきは受け入れな

い。③準好気性環境を保つ。④放流さ

れるのは基準を満たした水質のみと

する。⑤経時的な水質の連続モニタリ

ングと、詳細な検査による管理を行う。

▼展開検査について「目視」で安定5

品目以外の混入を防げるのか?

(答) 懸念されているような物質が付

着した廃棄物は、そもそも持ち込むこ

とが法律で禁止されている。異物混入

を防ぐよう最大限の努力をする。

▼未来永劫、有害物質の発生、地下水

の汚染、悪臭などが生じない根拠は?

(答) (22年間、産業廃棄物の) 埋め

立て作業後ただちに事業廃止する訳

でなく、3年程度を目途に周辺環境の

モニタリングを実施し、水質や大気質

が安定化することを確認したのち廃

止の認定を受ける。

▼搬入車(廃棄物運搬車両)による騒

音、振動、交通安全の影響

(答) 現状で平日1時間480台の車

両が通行、ここに当事業運搬車両が1

時間当たり最大6〜7台加わる。1%

程度の増加である。車両には特定の

その後の事業者の動き

以上の回答書(実際は分厚さ約1セ

ンチ)が提出された後、阪南市東鳥取

地区連合自治会から意見書(再質問)、

和泉の水を育む会から意見書がそれ

ぞれ和歌山市長に提出されました。そ

の後、事業者から和歌山市長に以下の

様な回答書・要望書が提出されました。

《事業者の回答書・要望書抜粋》

これまで関係住民に多くの時間をか

けて誠心誠意お伝えしてきました。当

社としては事業概要の説明責任を充分

に果たしたと考えておりますので、速

やかに条例(産業廃棄物処理施設の設

置にかかる紛争の予防に関する条例)

を終え、(施設設置の)本申請をさせて

いただきましたたく存じます。早急に指導又

は助言、協定の締結の要否をご指摘く

ださい。必要がなければ、速やかに申

請をさせていただきますのでよろしく

お願い申し上げます。

最後までお付き合いいただきまし

て、ありがとうございます。

これからも一生懸命頑張ります。

ブログ・後援会も含めて今後ともよ

しくお願いします。

阪南市議会議員 上甲 誠